

慶和園



身体拘束・虐待防止委員会 勉強会！

慶和園では8月26日に身体拘束・虐待防止委員会による勉強会を行いました。今年度1回目となる勉強会では事前に職員へのアンケートを実施し、集約した意見を元に内容を選定。今回は「アンガーマネジメント」について学ぶ機会を設けさせて頂きました。「アンガーマネジメント」とは、アンガー（怒りやイライラ）をマネジメント（うまく付き合う）するための心理トレーニングの事を言います。人との関りの中で私たちが抱く怒り



りは、価値観の違いや感じ方の違いにより起こるものとされていますが、そもそも人それぞれの価値観に「良い」「悪い」はありません。そして怒りのピークは長くても6秒とされています。

この6秒をやり過ごすために深呼吸や6秒数えたり、どのような価値観がそこにはあるのかを考えたりしていると6秒は意外とあっという間に過ぎていきます。アンガーマネジメントは怒りを我慢するものではなく、不要な怒りに振り回されず、多様な価値観を認め合えるようになる事。仕事上のイライラを軽減させ、気持ちよく仕事が進められるために必要な知識です。今回の研修で学んだことを実践に活かしていきます。



減させ、気持ちよく仕事が進められるために必要な知識です。今回の研修で学んだことを実践に活かしていきます。

畑クラブ・にんにく販売を通じて



8月下旬に入り、畑クラブの「ふれあい農園」では、にんにくの収穫作業を行っています。元気に育った2000本のにんにくを3週に分けて収穫。根切り、茎切、乾燥作業を経て、9月に入ってから、希望者へご提供するための箱詰め作業です。コロナ禍でなかなかお会いすることができないご家族や地域の皆様へ、にんにくをお届けすることを通じて‘心の交流’になればと考えております。



慶和園のD&I

多様な価値観・働き方を紹介

笑顔で明るく過ごす ご利用者に感銘



皆さん、こんにちは。働き始めて半年になる栄養士の古森千絵です。私は就職活動にあたり、ご利用者を第一にする考えと実際に笑顔で明るく過ごしている様子に感銘を受け慶和園での就職を決めました。この半年間を振り返ると、初めてのことだらけの中で常に新しい発見と学びの連続があり、目まぐるしい日々だったと思います。

全てがわからないことだらけの中でも、周囲の皆さんに「自分のペースで大丈夫」とやさしく、こまやかにサポート頂き元気に働くことができていること、とても感謝しています。日頃のご利用者との関わりやこちらに向けてくださる笑顔、京極町の自然に触れ（畑クラブや町内の皆様との交流等）、日々たくさんの元気を頂いております。ご利用者、職員の皆さん、地域の方々…たくさんの人に支えられていることに感謝して、一つ一つの仕事と向き合い、頂いているたくさんの元気を返していけるように精一杯頑張りたいと思います。

-慶和園運営方針-

- ・慶和園はひとつ。ご利用者・職員で慶(喜)びの和を大切にします。
- 私たちは、チームでご利用者の想いを実現させます -
- ・慶和園は一人ひとりを大切にします。
- 私たちは、自分以外の全ての人に真心をもって親切丁寧に接します。
- ・慶和園は地域とのつながりを大切にします。
- 私たちは、地域における役割りを理解し信頼を得られる行動をとります。

『慶和園だより』NO.260 令和4年9月10日発行

〒044-0132 虻田郡京極町字更進780番地1
TEL(0136)42-2201 FAX(0136)42-2209

編集発行：老人福祉施設 慶和園 広報委員会

発行責任者：施設長 澁谷 剛

※「慶和園」だよりに掲載の個人情報、ご本人もしくは、ご家族様の許可を得て使用させて頂いております。

◎今月の羊蹄山：秋晴れの中、養護ユニットの外出企画。久々の外出にご利用者・スタッフの気持ちも‘秋晴れ’となりました。

慶和園「わたしたちの深化・進化」

～各ユニット 2022 年度・取組紹介～

施設管理部門 (事務・用務・清掃)

2022年度の慶和園運営テーマは、「ご利用者のために深化宣言！」～私たちも進化しよう！！～です。そこで、今年度の各ユニット・セクションにおける「しんか」の取組を紹介させていただきます。今月は「施設管理部門」からの紹介です。



施設管理部門は、事務係 4 名、清掃係 2 名、用務係 3 名で構成されています。

養護、特養の区分はなく老人福祉施設慶和園 (特養 60 名・養護 35 名・短期 3 名) 全体に関わっております。ここで各係におけるご利用者との関わりについてご紹介させていただきます。

清掃部門は共用部門の清掃・養護ご利用者のトイレ清掃や昼食時の準備等などに関わり、用務部門は通院の送迎、館内の消毒、施設内の修理等でご利用者に関わることが多いです。事務部門は、訪問や電話対応等「最初の窓口」としてご家族の皆様と関わることも多いですが、日々の生活や行事などで、一緒に同行しながら世間話をして楽しい時間を過ごさせてもらっています。これからも老人福祉施設慶和園のチームとして、積極的に関わりあい、ご利用者の方に「あの人誰?」と言われるのではなく顔と名前をしっかり覚えてもらえるよう、深く関わっていききたいと思います。



慶和園の役割
を考える

養護老人ホームについて



養護老人ホーム慶和園は、定員 35 床、建物 2 階部分にて事業運営を行っています。利用対象者は、制度上、「65 歳以上の方

環境上及び経済的な理由により、在宅で生活することが困難な方」ですが、一概に「在宅生活が難しくなった方」と言ってもその中身は十人十色。近年では、高齢者に多い認知症のケースとは別に、知的障がいや精神疾患などのケースの受け入れも増え、私たちスタッフも勉強の日々です。また、家族や地域課題の複雑化も進み、ご本人への支援はもちろんご家族への支援も必要となるケースや成年後見人を必要とするケース、環境上の課題からあえて遠方 (後志管外) よりご利用いただくケースも増えています。自ずと地域の関係機関 (地域包括支援センターや社会福祉協議会、医療機関等) との継続的な連携協働が色濃くなっています。コロナウイルスの影響など、人々の生活環境に変化があれば、自ずと生活支援施設の役割にも変化が生じるもの。引き続き生活支援施設として柔軟な対応を推進し、各人の自立生活をサポートしていきます。

京極八幡宮神社祭 お神輿の巡行

9 月 2 日は、京極町八幡神社のお祭りで、慶和園へお神輿が来園されました。松前神楽の舞いの披露や獅子舞いの登場もあり、ご



利用者の皆様も「つかの間のお祭り」を楽しみました。獅子舞を前に、無病息災・健康長寿など、それぞれご祈願し手を合せていました。

【ご厚志に感謝いたします。】

8月4日～31日分 << 順不同・敬称略 >>

- 【寄付金】 -藤波 秀博(同)-藤澤 玲子(同)
- 【寄付品】 -サロドシエル(京極町)-菊地真知子(同)-前川正行(同)
-北海道施設管理(同)-笹原まゆみ(同)-有馬てつ子(同)-松浦信一(同)-福富純一(同)-藤波秀博(同)-大広克子(倶知安町)-一円幹子(同)-高岸朋子(同)-佐々木 仁(同)
-岡本久志(札幌市)-成田典子(同)-宇羅悦子(同)
-藤岡幸弘(同)-石橋智(同)-青柳久(同)-北本修司(同)
-成田 勇(北広島市)-唐牛 隆(東京都)-石橋政直(静岡県) 以上

【2022年9月10日～10月の行事予定】

【9月】

- 11日 出張理容(菅原理髪店)
- 12日 出張理容(サロドシエル)
- 14-21-28日 畑クラブ
- 15-22-29日 ちょこっと体操
- 16日 慶和園敬老会
- 20日 彼岸法要
- 26日 出張理容(竹山美容室)

【10月】

- 6-13-20-27日 ちょこっと体操
- 10日 出張理容(サロドシエル)
- 12日 めいす・せせらぎ合同企画
- 24日 出張理容(竹山美容院)
- 26日 ようてい・ふきだし「ひととき」

～ 相手の心を想う ～ 編集長が考えたこと。

友人や家族とたまに仕事の話をするのですが、その時に共通して「介護は大変なのに続けられるのすごい」と言われます。自分としては他の仕事も大変では?と思うのですが少し調べたところあるサイトでは大変な仕事ランキング1位という結果でした。こうして数字で結果が出ると世間一般的に介護は大変なんだと思いました。なのでこの慶和園だけでも大変なランキングに入らないような職場になるよう精進していきたいと思っています。

委員会編集長 分銅恵汰